

成果事例集

平成
26年度
補正

平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金

愛媛県中小企業団体中央会

目次

はじめに	1
資料 26年度補正ものづくり補助金 事業概要	2
平成26年度補正 成果事例	
1 三和紙工株式会社	3
2 有限会社イツワ工業	5
3 株式会社トップファクトリー今治	7
4 株式会社ミッキークリーニング	9
5 株式会社愛新鉄工所	11

(掲載順は、受付番号順)

はじめに

愛媛県中小企業団体中央会は、平成24年度補正ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金の「愛媛県地域事務局」として、製造業を支えるものづくり産業基盤の底上げを図るとともに、即効的な需要の喚起と好循環を促すため、ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等を支援しました。

これ以降、対象事業者や事業内容を少しずつ変えながらも、一貫して、ものづくり補助金による支援を継続しており、平成24年度補正から平成30年度補正までの7年間について補助事業を終了し、県下の中小企業・小規模事業者の新たな製品・技術・サービスの開発や生産プロセスの改善等の多くの実績をあげました。現在も、令和元年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金の愛媛県地域事務局としての支援を行っています。

愛媛県内の補助事業の結果としては、平成26年度補正は、190件が採択され、うち188件が補助事業を完了しており、試作開発や設備投資の促進等により地域産業の活性化に資するなど大きな効果があがっています。

本成果事例集の作成にあたり、事例掲載事業者については、平成26年度補正の補助事業者より、令和2年6月末までの事業化状況・知的財産権等報告において「事業化有り：第5段階（継続的に販売実績があり利益が上がっている）」とご報告いただいた事業者の皆様より選定しました。

この成果事例集が今後の新たな試作開発や設備投資、生産プロセス改善等をお考えの事業者にとって参考となりましたら幸いです。

最後に、訪問調査の実施においては、事例掲載企業の皆様の大変なご協力をいただきましたことを、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

令和3年11月

愛媛県地域事務局
愛媛県中小企業団体中央会

事業概要

平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金

事業目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援

補助対象者

日本国内に本社及び開発拠点を現に有する中小企業者、中小企業等協同組合等

補助対象事業

	一般型	コンパクト型
革新的サービス	・補助上限 1,000万円 ・補助率 2/3 ・設備投資必要	・補助上限 700万円 ・補助率 2/3 ・設備投資不可
ものづくり技術	・補助上限：1,000万円 ・補助率：2/3 ・設備投資必要	
共同設備投資	・補助上限：共同体 5,000万円（500万円/社） ・補助率：2/3 ・設備投資必要	

補助対象要件

[革新的サービス]

- ①革新的なサービスの創出等であり、3～5年計画で付加価値額年率3%及び経常利益年率1%の向上を達成できる計画であること。
- ②どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

[ものづくり技術]

- ①「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。
- ②どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

[共同設備投資]

複数の事業実施企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組むことで、事業実施企業全体の3～5年計画で付加価値額年率3%及び経常利益年率1%の向上を達成できる計画であること（実績がないため以下省略）

公募期間

- ・1次公募
平成27年2月13日(金)～平成27年5月8日(金)
- ・2次公募
平成27年6月25日(木)～平成27年8月5日(水)

三和紙工株式会社

新規カッティングシステム導入による洋紙製品型抜き加工の効率化

新規のカッティングシステムを導入して、シールやパッケージ等洋紙型抜き加工能力を高度化して多品種小ロット受注品対応力を強化し、これまで取りこぼしてきた高付加価値ニーズの受注、売上増を目指す

事業取組の経緯

当社は、紙産業の集積地である愛媛県四国中央市にて、化粧箱やラベルなど紙製品の製造を行っている。近年は中国を始めとする海外との価格競争が激しくなり、特に加工が比較的シンプルな製品の受注量が減少している。

また、顧客からは「多品種小ロット生産」、「短納期対応」に対する要望が年々高まっている。

そのため、売上と利益の拡大を目指すために、「加工技術の高度化」と「きめ細かい顧客ニーズ対応」に取り組む必要があった。

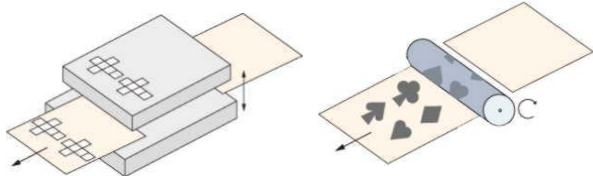
実施内容

高付加価値化と柔軟な生産体制を実現するために、2つの加工機械を導入した。

(1)「ロータリープレス機(回転ロール式抜き機)」は、抜き型を装備した回転ロールによる型抜きを行うため、一面全体に抜き型を配置する平型プレス機に比べて抜き個数が少なく、抜き製作コストを削減できる。

[従来:平型プレス]

[新規:ロータリープレス]



(2)「フラットヘッドカッティング装置」は、数値制御が可能であるため、抜き型が不要であり、従来の抜き工程では加工が難しい複雑精密形状のカッティングが可能である。

[フラットヘッドカッティング装置]



事業取組の成果

ロータリープレス機の導入により、抜き製作コストを大幅に削減することができた。また、リードタイムも短縮することができたため、海外企業に対しても競争力を発揮することができるようになった。

フラットヘッドカッティング装置の導入により、精密にカットした付加価値の高い製品を生産可能になった。また、抜きコスト削減や小ロット生産、リードタイム短縮など、生産面で多くのメリットが得られた。このことにより、生産工程の合理化が得られるのである。

今後の活動予定

本事業の成果を基に、今後も高付加価値化、多品種小ロット、短納期化を推し進め、自社の技術水準を高めていきたい。

また、製造プロセスの合理化、省力化とIT化の推進は、女性従業員の活躍の場を広げることに繋がり、現在急速に進む少子高齢化と地域の人口減少、それによってもたらされる労働力不足をカバーする意味でも重要である。今後も地域経済活性化に寄与できるよう取り組んでいきたい。

三和紙工株式会社

- 代表者／代表取締役 安賀 淳
- 本社住所／〒799-0405 愛媛県四国中央市三島中央五丁目7番33号
- TEL／0896-23-5398 ■ FAX／0896-23-5379
- URL／<https://www.sanwa-shiko.com/>
- メール(担当者)／aga@sanwa-shiko.com
- 設立年月／1974年7月
- 資本金額／1,000万円
- 従業員数／30人
- 業種／パルプ・紙・紙加工製造業
- 事業拠点／本社・工場 愛媛県四国中央市三島中央五丁目7番33号

企業概要

三和紙工株式会社は、紙の可能性を追求して、紙だからできることをカタチにしていく会社です。

1974年の創業以来、地域社会の製紙製造加工業の成長と共に地域社会の皆様へ御支援を頂き、紙箱を中心に日々たゆまぬ努力で技術とセンスを磨いてまいりました。

これからもお客様に必要とされる存在となれるよう、三和紙工株式会社では紙箱のみではなく、様々な紙加工製造に携わる事で既成概念に捉われない商品の開発製造を追求していき、紙の未来の可能性を広げる選択肢を提案していきたいと考えております。

主要取引先

新タック化成(株)、(株)榊紙店、石崎商事(株)、(株)ゴークラ、カクケイ(株)、山中商事(株)他。

主要製品

	<p>< Packages パッケージ > デザイン、形状、紙素材、お客様が手に取る際にフレキシブルに対応できる紙箱。紙箱で包む商品をユーザー様へ商品アピールへの貢献を図るために、固定概念にとらわれない発想で平面ではなく立体的なご提案に取り組んでおります。</p>
	<p>< 貼箱 > 通常の紙箱との差を付け、材料はすべて紙ですが木箱、プラスチック成型箱のように素材に重厚感を持たせることで通常の紙箱よりもワンランクグレード高い箱が貼箱です。</p>
	<p>< Promotion Articles POP・什器 > 広い店内に置いてお客様の商品を引き立たせる舞台装置が什器でございます。お客様の重要な商品を立体的に並べることにより販売促進につながります。重みのある商品にでも十分耐えられるように2枚の板紙を貼り合わせることで耐久性も持たせ複雑な設計構造も可能にします。</p>

主要設備

自動平版打抜き機、サックマシン、UVプリンター、ハイデル GDP、ハイデル箔押しシリンダー、ハイデルシリンダートムソン、箔押し機、断裁機、丁合機、ブランキングマシン、穿孔機、ブッシュ、洋紙研磨機、ホリゾン糊付機、ジェットスリッター、RDロータリーダイカット、他。

担当者	代表取締役 安賀 淳
連絡先	0896-23-5398
連絡先 E-mail	aga@sanwa-shiko.com

有限会社イツワ工業

耐震性のある高精度の金属加工を可能とする設備導入計画

現有の機械の金属切断能力は長さ 3m・厚さ 4.5mm までである。新規設備は長さ4m・厚さ 6.5mm の切断が可能である。顧客ニーズは、耐震性の高い金属加工を求めており、長さ・厚み・加工精度を高めることで、高い耐震性が要求される製品の受注が可能となる。

事業取組みの経緯

当社は、鋼製建具(自動ドア・柵・防火扉)や建物金物(手摺・パネル)、薄板加工が主力。近年は全国的な耐震工事増加に伴い、業界全体として耐震性の高い金属加工のニーズが高まり、当社も一部耐震工事に関する部品を製造している。

今回の事業は、この顧客の“耐震性”の高度化ニーズに対応するための設備投資を行うものである。

実施内容

- ① 当社の切断機は、県内に流通する金属の長さ4mに対し3mまでしか対応できない。
- ② 耐震ニーズの高度化により、厚みのある板の加工ニーズが高まっており、当社の現有機械ではこれに対応できない。
- ③ 切断機に従事する従業員を1名配置しているが常に作業工程が切り替わるごとに長さの設定を変える作業時間ロス(30秒程度)が発生する。
- ④ 現有切断機は導入後20年以上経過しており機械の作業誤差が発生している。以上を克服するため、今回の設備投資を決意した。

導入機械装置〔メカニカルシャーリングマシン〕



事業取組みの成果

- ① 材料の短辺部分については、既存機械を稼働させることで切断時の長さの切替にかかる時間を最小限の30秒に抑えることが出来る。結果的に作業効率を30%アップすることが可能となった。
(作業時間短縮)
- ② 機械の導入で、一台目で長辺を切断後、機械後方に切断した材料の向きを変えず、2台目で切断することで、材料移動の時間を最小限に抑えることが可能となった。
- ③ 長辺を新設機械で切断することで、今まで必要であった誤差の調整時間をなくし、短辺は長さが短いことから誤差も少なく調整する時間もほとんど発生しない。
(効率的な金属切断作業が可能となった。)

今後の活動予定

近年、中国から単価の安い製品が増加しており、コスト面で厳しい環境下にあるが、精度の高い製品を安定して提供し続けることで顧客の信頼を高めコスト削減にも取り組んでいく。




今後も耐震工事は堅調に受注できることが想定されることから、今回の事業を通じて一層戦略的に事業展開することを推し進めることとする。

(なお、現在は3次投資まで実施済みである。)

有限会社イツワ工業

- 代表者役職氏名／代表取締役 濱田忠昭
- 本社住所／〒799-3124 愛媛県伊予市三秋304番地1
- TEL／089-983-3837 □FAX／089-983-6663
- URL／<https://ituwakogyo.com/>
- メール(代表)／ituwakogyo@chic.ocn.ne.jp
- 設立年(月)(日)／2003年 6月 12日 □資本金額(万円)／300万円
- 従業員数(人)／12人(役員2人除く)
- 業種／ 建築金物製造業(建設業:建築金物工事業及び建具工事業の許可を得ている)
- 事業拠点／本社工場 愛媛県伊予市三秋304番地1 第一工場 愛媛県伊予市三秋54番地
第二工場 愛媛県伊予市三秋158番地 第三工場 愛媛県伊予市三秋303番地3
- 企業概要／
現経営者が1998年に個人創業し、2003年に有限会社に組織変更し、現在地に移転したものである。
- 主要取引先
ナブコドア株式会社、文化シャッター株式会社等 30社以上と取引がある。

主要製品

	キャノピー (庇) 建物の装飾金物 ステンレスフレームに焼付塗装仕上げ
	ビルのステンレス格子付 F i x 枠・ステンレスパネル焼付塗装仕上げ ポイントはココ
	曲げ物 (アルミ水切り・一体曲げ) 雨が降った時等、水が流れ落ちて、角度がついていることにより、奥へ流れ込むことを防げる。(先から下へ水が落下) 先の幅 14 ミリ 当社の熟練工しか出来ない技術により一体型でこのサイズ

主要設備

シャーリングマシン、タレットパンチプレス・ハイブリッドドライブバンダーマシン・
TIG 溶接機・半自動溶接機・自動送り装置付鋸盤 etc.



担当者	代表取締役 濱田忠昭
連絡先	089-983-3837
連絡先 E-mail	ituwakogyo@chic.ocn.ne.jp

株式会社トップファクトリー今治

高精度生産計画に基づく生産性及び品質向上プロジェクト

全製織機へモニタリング機器を取付け、稼働状況を収集し、生産計画システムへ連動させ、高精度生産計画を立案する。同時に蓄積された稼働データを分析し生産性及び品質を向上させる。

事業取組の経緯

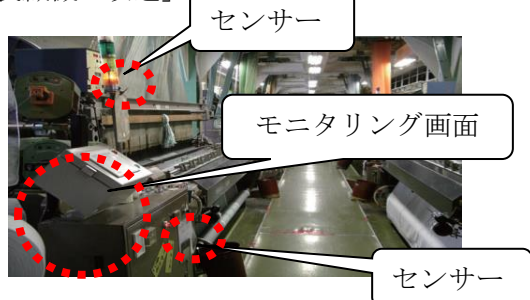
“今治タオル”の知名度の高まりにより地域産業全体は好調ではあったが、各社の生産能力拡大に伴い企業間の競争は増している。そして、多品種小ロット生産、短納期対応、飛込み案件に関する顧客要望も益々強くなっている。

そのような状況の中、当社では熟練工の勘と経験による生産体制が定着しており、商品種類や生産量が増加する状況において最適生産計画と正確な納期確認の実現に関して課題を抱えていた。そのため、合理的且つ効率的な生産体制の実現に取り組む必要があった。

実施内容

全ての製織機(タオル生地製造機)にセンサーを取付けて稼働状況をモニタリングできるようにした。そして、モニタリング情報と生産計画システム及び販売管理システムをシステム間連携した。このことにより、生産予定の遅れや混み具合をリアルタイムで把握でき、高精度の生産計画及び正確な納期回答が実現できるようになった。数ヶ月先の正確な納期回答が可能となれば、顧客への革新的な情報提供が実現し他社との大きな差別化になると考えた。

[製織機の改造]



事業取組の成果

製織機の稼働状況をリアルタイムで把握することで、機械停止時間を短縮することが可能になり機械稼働率が向上した。また、生産計画システムへモニタリング情報を連携することで、最適の生産計画が立案できるようになった。そして、生産計画システムと販売管理システムの連携により迅速な納期回答をできるようになった。

そして、機械稼働率と生産計画が最適化されたことで、競争力の高い商品の量産化が可能になり、尚且つ、生産優先度に応じた計画調整が容易となり、飛込み案件の受注量を拡大できる環境も整った。

今後の活動予定

当社は繊維問屋・百貨店・専門店・海外バイヤーからの企画に沿って素材開発・特殊織り対応・量産化を担うタオルメーカーであるが、オリジナル商品を開発し、インターネット小売り事業にも事業を拡大した。

経営理念である「生活文化創造企業を目指して」を旗印に、当社の製織技術を活用し「長く愛されるロングセラー商品」を開発する為、お客様の声を取入れた商品企画・開発にチャレンジしていきたい。

株式会社トップファクトリー今治

- 代表者役職氏名／代表取締役 川島 潤
- 本社住所／〒794-0022 愛媛県今治市室屋町7丁目3-5
- TEL／0898-22-2259 ■ FAX／0898-22-2257
- URL／<https://www.top-imabari.co.jp/index.html>
- メール(担当者)／abe.t@top-imabari.co.jp
- 設立年(月)(日)／1965年4月
- 資本金額(万円)／1,000万円
- 従業員数(人)／47人
- 業種／繊維工業
- 事業拠点／本社工場 愛媛県今治市室屋町7丁目3-5

企業概要

「生活文化創造企業」という企業理念のもと、笑顔をつくる企業をテーマに日々、モノづくりをおこなっています。

主要取引先

日本ユーテンシル株式会社、トップ産業株式会社他

主要製品

	<p>【今治いろはハンカチ】 25×25cm 7柄×2配色 トップファクトリーが得意とするガーゼパイル商品で、和柄を今風にアレンジして展開しています。紙製パッケージ入りでそのまま贈り物としても人気です</p>
	<p>【まくらマキコ】 枕に巻くだけでずれにくい、枕専用のガーゼ商品です。多重ガーゼ構造と柔らかい4重ガーゼを組み合わせ、肌触りが良く着脱しやすい枕カバーを開発しました。</p>
	<p>【空気のタオルSOLA】 特殊撚糸と中空糸を使用し、軽くて柔らかく、速乾性のある両面パイルのタオルです。ウォッシュタオル・フェイスタオル・バスタオルの3アイテムで展開しています。</p>

主要設備

ジャガードタオル織機・部分整経機・自動裁断機・耳巻き用ミシン・本縫いミシン・検針機

担当者	総務部 阿部ともみ
連絡先	0898-22-2259
連絡先 E-mail	abe.t@top-imabari.co.jp

株式会社ミッキークリーニング

「全品翌日仕上がり100%保障!!」クイックシステムの構築

現当業界では、クリーニングの仕上げ日数をお客様にお伝え出来ず、多くの不満の声があがっている。

そこで、高速処理が可能な仕上げ機、包装機等を新規に導入することによりクリーニングのお預かり日に対し、必ず全品を翌日に仕上げられる業界初のクイックシステムを構築する。

事業取組の経緯

当社は、創業時から“早い”“安い”“キレイ”をキャッチフレーズに営業を推進してきたが、長年を経て日常(管理)化してきているため、新たな施策の取り組みが必要である。

一方、クリーニング需要の減少、市場の縮小等により、業界の競争は激化の一途をたどる中、消費者アンケート(要求)からは「仕上がり時期の明確化」を望んでいることが判明した。

そのため「全品翌日仕上がり100%保障!!」を事業テーマとして取り組んだ。

実施内容

事業テーマである、

「全品翌日仕上がり100%保障!!」

を、実現する高速処理が可能な仕上げ機、包装機等を新規導入することにより、全品を翌日に仕上げられる、業界初のクイックシステムを構築するために設備機器の導入を行った。



事業取組の成果

- ① 加工部門の人員を削減
- ② 熟練者でなくとも作業が可能
(今後の労働力確保に有利)
- ③ 導入設備による効果
 - ・生産枚数、仕上個数の向上及び、品質の向上
 - ・多様な素材等に合せて設備1台で仕上が可能
 - ・品質の安定化・均一化が可能
 - ・プログラミングによる自動包装
- ④ 収益のUP、売上高のUP、市場占有のUP

今後の活動予定

課題解決に向けた活動予定。

- (1) 設備導入以外の課題
 - ① クイックシステム工程整備
 - ② 従業員教育、マニュアルの作成
- (2) 配送時間及び作業時間の検証
 - ① クリーニング工程
 - ② ルート回収、配達
 - ③ クリーニング工程
 - ④ 配達(ルートの検証)
- (3) クイックシステム導入担当責任者の配置



株式会社ミッキークリーニング

- 代表者役職氏名／代表取締役 山本利男
- 本社住所／〒790-0962 愛媛県松山市枝松6丁目2番16号
- TEL／ 089-947-3666 □FAX／089-947-3075
- URL／<http://www.mickey-cleaning.jp/>
- メール(代表)／micky_ymy@yahoo.co.jp
- 設立年(月)(日)／昭34年6月個人創業、昭和53年4月法人化 □資本金額(万円)／900万円
- 従業員数(人)／30(パートタイマー含む)
- 業種／クリーニング業
- 事業拠点／本社工場 愛媛県松山市枝松6丁目2番16号
今治事業所:今治市郷桜井4-1-30
新居浜事業所:新居浜市新須賀町2丁目2-43

企業概要

クリーニング《CLEANING》、貸しおしぼり《WET TOWEL》、コインランドリーを営業《COIN LAUNDRY》

「買った時の喜びを」

「ホームクリーニング」

「抗菌加工の貸しおしぼり」

「安心・清潔・大型・コインランドリーミッキー」

主要設備

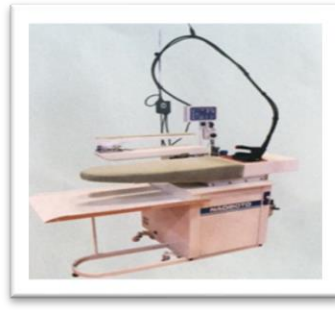
《サンドイッチズボンプレス機》



《シングルズボンプレス機》



《パフ機能付き仕上げ台》



《帽子仕上げ器》



《三方シール自動平面包装機》



《快速自動立体包装機》



担当者

連絡先

連絡先 E-mail

専務取締役 山本 義貴

089-947-3666

micky_ymy@yahoo.co.jp

株式会社愛新鉄工所

大型厚肉構造物の溶接自動化システムの構築による生産性改善

クレーン部品をはじめとする大型厚肉溶接構造物の短納期化、低コスト化の需要が高まる中、溶接工程の自動化システムを構築することで、生産効率を改善すると共に、製品品質のばらつきを減少させることを目的とする。

事業取組の経緯

当社は、大型産業用クレーン部品の製作・保守を行っている。近年、港湾設備の大型化により荷役用のクレーンも大型のものが多く製造されている。また国内クレーンメーカーは、世界中のメーカーとの熾烈な競争環境下であり、短納期・低コストを求められている。

これらを背景とした、メーカーの加工精度向上と短納期化の要望に応えるには、全工程の 58.3%を占める溶接工程の生産性を向上させる必要があった。以前から溶接時間短縮に取り組んできたが、溶接品質悪化により再溶接や手入れ作業が発生し、生産性の改善にはつなげていなかった。

実施内容

- ①大型厚肉構造物を可搬なポジショナーを導入した。ポジショナー容量は 2t の特注仕様とし、大型工作物に対応できる体制とした。
- ②溶接ロボット設備を導入した。溶接ロボット自体を可動式コンベアに搭載し、溶接ロボットのリーチを増やすことで、稼働率及び生産性を最大化するシステムを構築した。
- ③センサー設備を導入し、溶接箇所のを 3 次元的に補正できるようにした。



溶接ロボット(左)とポジショナー(右)

事業取組の成果

クレーン設備を構成する厚肉構造物の溶接工程を、ロボットシステムを導入し省人化した。従来人手で行っていたが、操作条件の最適化により作業時間が軽減され、品質の安定化が図れた。

具体的には、従来の方法での、のべ製作時間に占める溶接工程作業時間140hrの内、計34hrが削減でき、製作時間全体では24.3%(目標:15%)の短納期化を達成した。

また、ロボット化による省人化効果により、製作コストは10%(目標:5%)削減できた。ロボット溶接率も、被溶接物1台当たりの溶接線総延長10.88mに対して、ロボットでの溶接可能長さは8.84mを達成し、ロボット溶接率は81.25%(目標:80%)となった。

今後の活動予定

国内の産業用クレーンの市場規模は約 3000 億円である。本事業実施時点では、円安傾向による日本製クレーンの需要伸長、製造業の国内回帰など事業環境に追い風が吹いていた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で物流関連の需要が大幅に減少したことから、今後の見通しは不透明になっている。

ただ、本事業化により溶接工程の飛躍的な合理化が実現できたことは間違いない。当社でのクレーン部品の製缶溶接品の製作台数のキャパシティーは事業実施前から 1.5 倍に増加している。今後は製缶溶接品以外にも肉盛り等の用途開発を行い、建機など他分野の部品製造に進出したい。

株式会社愛新鉄工所

- 代表者／代表取締役 片座 寛
- 本社住所／〒792-0861 愛媛県新居浜市清水町 12 番 50 号
- TEL／0897-33-7070 ■ FAX／0897-32-2320
- URL／<https://www.aishin-web.jp/>
- メール(担当者)／kataza-seiichirou@aishin-web.jp
- 設立年月／1940 年 4 月
- 資本金額／1,000 万円
- 従業員数／30 人
- 業種／はん用機械器具製造業
- 事業拠点／本社・工場 愛媛県新居浜市清水町 12 番 50 号

企業概要



1940 年に化学プラントの計装品メンテナンスを主な事業として創業。その後 1980 年代からクレーン関連装置やプラント機器等の製造に取り組んできた。特に大型クレーンの走行装置やコンテナ等の吊装置、クレーンの転倒や逸走を防止する安全装置を得意としており、長年国内トップメーカーからの「信頼」を得ている。素材から製缶溶接、機械加工、塗装、組立までの「製造の一貫体制」を構築しており一品一様の製品に仕上げる。「製品の品質」、「納期の順守」、「真摯な提案」を元に生み出す製品は、国内外の社会インフラを支える愛新鉄工所のプライドである。

2018 年、2020 年と 2 期にわたり機械エリアと組立エリアを有する 1,200 m²の工場を新設した。製品の製造能力は従来の 400t/年から 800t/年に増え、より大型の機械も製造可能となった。これからも製造品目の増強、新たな技術の導入等の挑戦を続け、モノづくりの未来に貢献していく。

主要取引先

住友金属鉱山株式会社、住友重機械工業株式会社、住友化学株式会社、大王製紙株式会社

主要製品

	<p>【クレーン用走行装置】 クレーンが移動するための駆動ユニット。 クレーンを支える土台になるユニットで、レールの上を走行する。 製品重量は最大で 20t。</p>
	<p>【スプレッダー】 港に運ばれたコンテナを吊り上げるための専用吊具。 コンテナの大きさに合わせて長さを自由に調節 できる。 可動範囲は 5.5m から 13.5m。</p>
	<p>【レールクランプ】 クレーンの走行装置に組み込む安全装置。 レールを挟み込むことで、クレーン本体とレールを固定する。 強風や吊り荷の影響による、クレーン逸走や転倒を防ぐための装置。</p>

主要設備

五面加工機、立形マシニングセンター、NC 横中ぐり盤、CNC 旋盤

担当者	取締役 片座 誠一郎
連絡先	0897-33-7070
連絡先 E-mail	kataza-seiichirou@aishin-web.jp

平成
26年度
補正

平成 26 年度補正
ものづくり・商業・サービス革新補助金

成果事例集

発行

愛媛県中小企業団体中央会

〒791-1101

愛媛県松山市久米窪田町 337 番地 1

テクノプラザ愛媛 3 階

TEL(089)955-7150

FAX(089)975-3611

URL <http://www.bp-ehime.or.jp/>